

平成 15 年度

「臓器移植コーディネーターと看護の役割」

コース目標：臓器移植に対する正しい知識と理解を深め、移植者・提供者およびその家族の身体的・精神的・社会的側面における特徴を理解する。臓器移植における継続的な援助をするために、レシピエントコーディネーターを中心とした臓器移植コーディネーターの役割について学ぶ。

月日 (曜日)	科 目	講 師	科 目	講 師
	9:30~12:30		13:30~16:30	
9/8 (月)	オリエンテーション 情報交換 ・自己の立場や受講の動機等	早川	臓器移植医療の現状と動向 ・臓器移植とは ・臓器移植の歴史 ・臓器移植医療と倫理 移植医療の発展	寺岡
9/9 (火)	ドナーコーディネーターの 役割と活動の実際 ・移植医療チームの構成員 ・職種間連携	菊地	臓器移植法と 脳死下移植の課題	佐藤
9/10 (水)	臓器移植医療における 看護の役割 ・期待される看護の役割 ・看護職としての倫理 ・対象者のメンタルヘルス	野副	移植医療チームにおける レシピエントコーディネーターの 役割と活動の実際	井山
9/11 (木)	臓器移植医療の看護の実際① ・移植前 ・周手術期 ・移植後	添田	臓器移植医療の看護の実際② ・ドナー、レシピエント、家族への継 続した組織的な支援体制の確立 ・移植看護の確立と具体的な対策	萩原
9/12 (金)	課題別グループディスカッション ・施設の現状と問題点の明確化 ・課題解決のための具体的な対策 グループ発表と全体共有 ラストチャンスQ&A			添田 萩原

講師名 (講義順・敬称略)

寺岡 慧	東京女子医科大学腎臓総合医療センター
菊地 耕三	臓器移植ネットワーク
佐藤 由佳	厚生労働省健康局疾病対策課臓器移植対策室
野副 美樹	東京女子医科大学
井山 なおみ	京都大学医学部附属病院
添田 英津子	慶応義塾看護短期大学
萩原 邦子	北海道大学医学部附属病院

平成16年度企画書

臓器移植コーディネーター養成研修

コース目標：臓器移植に対する正しい知識と理解を深め、移植者・提供者およびその家族の身体的・精神的・社会的側面における特徴を理解する。臓器移植における継続的な援助をするために、レシピエントコーディネーターを中心とした臓器移植コーディネーターの役割について学ぶ

月日 (研修日)	時間	科目名(テーマ) / 内容	講義のねらい (学習目標)	講師名【所属】
12/20 1日目 (月)	午前 (9:30 ～)	オリエンテーション 自己紹介 情報交換 臓器移植医療における各コーディネーターの役割 ・ドナーコーディネーター、院内コーディネーター、レシピエント移植コーディネーター、ファミリーコーディネーターの分類の明確化 ※ 各臓器別、臓器提供施設、移植実施施設別にグループ分けする	臓器移植に関わる役割を理解し、日本で携わっている看護職の同士のネットワークを構築する	真下綾子 (コース担当) 添田 英津子 (慶応義塾大学病院)
	午後	臓器移植の現状と動向 ・臓器移植とは(歴史を含む) ・移植可能な臓器・組織について ・臓器移植の種類(脳死・生死)また各臓器ごとの特色 ・臓器移植法 ・移植医療における諸問題 ・海外および日本の臓器移植の現状	臓器移植医療の現状と動向が理解できる	寺岡 慧 (東京女子医科大学腎臓総合医療センター)
12/21 2日目 (火)	午前	日本臓器移植ネットワークの役割 ・ドナー移植コーディネーターの役割 ・ネットワークと都道府県コーディネーターの位置付け ・脳死および心停止下の臓器移植提供の現状 ・脳死移植患者の待機患者	臓器移植提供側の仕組みを理解し、日本の脳死臓器移植の現状と今後の課題について考える。	菊地 耕三 (臓器移植ネットワーク)
	午後	臓器移植と倫理 ・臓器移植提供側の倫理的問題 ・生体臓器移植の倫理的問題 ・インフォームド・コンセント ・意思決定 ・アドボケイト	臓器移植に関わる倫理問題について考え、倫理的感受性を磨く	志自木康子 (東京都立保健科学大学)

平成 16 年度企画書

12/22 3 日目 (水)	午前	<p><臓器移植側></p> <ul style="list-style-type: none"> ・臓器移植医療の看護の実際 I (腎移植) <ul style="list-style-type: none"> ・術前の看護 ・周術期の看護 ・術後回復期の看護 	腎移植の看護の実際を理解できる	梅木恵理 (埼玉医科大学 附属病院)
	午後	<ul style="list-style-type: none"> ・臓器移植医療の看護の実際 II (肝移植) <ul style="list-style-type: none"> ・術前の看護 ・周術期の看護 ・術後回復期の看護 	肝移植の看護の実際を理解できる	草深仁子 (信州大学医 学部附属病 院) 中村友枝 (信州大学医 学部附属病 院)
	午前	<p><臓器提供側></p> <ul style="list-style-type: none"> ・臓器提供プロセスの実際 <ul style="list-style-type: none"> ・脳死 ・心停止 ・組織提供 ・臓器移植提供の実際 (移植医療チームの構成員、日本臓器移植 ネットワーク、レシピエント選定基準、職種間 連携) 	臓器提供におけるプロセスを理解する	櫻井悦夫(東京 医大八王子 医療センタ ー)
	午後	<ul style="list-style-type: none"> ・臓器提供下での看護の実際 <ul style="list-style-type: none"> ・実際の臓器提供の看護経験から学ぶ ・院内コーディネーターとしての看護師の役割 	臓器提供下における看護師の役割を学ぶ	佐藤憲明 (日本医科大 学附属病院)
12/23 4 日目 (木)	午前	<p><臓器移植側></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植のメンタルヘルス <ul style="list-style-type: none"> ・レシピエントの心理的变化と葛藤 ・生体ドナーの心理的变化と葛藤 ・医療従事者へのストレスケア 	臓器移植がもたらす真実的変化や家庭内力動などを理解する	渡辺俊之(高 崎健康福祉 大学健康科 学部教授)
	午後	<ul style="list-style-type: none"> ・レシピエント移植コーディネーターの看護 <ul style="list-style-type: none"> ・移植を選択する上での家族の意思決定の援助(脳死・生体・臓器別の特色) ・移植後の継続した患者教育の必要性 ・退院後のフォローアップ ・移植の全過程での調整役 	レシピエント移植コーディネーターの専門性が理解できる	萩原邦子 (北海道大 学医学部附 属病院)

平成16年度企画書

	午前	<p><臓器提供側></p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機的状況における家族への援助 ・救急の場面での危機的状況にある家族の反応 ・家族への介入や精神的援助 ・意思決定する上での看護者の田市場 	危機的状況にある家族の悲嘆過程を理解し、臓器提供下での家族への介入方法を知る。またその精神的援助方法を理解する。	瀬川久江 (日本看護協会 研修学校)
	午後	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーフケア ・悲嘆家族へのケア ・臓器提供によるドナー家族の心理的变化 ・医療従事者へのストレスケア 	危機的状況にある家族の悲嘆過程が理解できる。また臓器提供に関わる看護スタッフのストレスマネジメントを考えることができる	野副美樹 (東京女子医科大学看護学部)
12/24 5日目 (金)	午前	<p><臓器移植側></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク 	移植にかかわる課題を明確にする	野副美樹 (同上) 萩原邦子 (同上)
		<p><臓器提供側></p> <p>グループワーク</p>	臓器提供にかかわる課題を明確にし、具体的解決策をさぐる	佐藤 憲明 (同上) 添田 英津子 (同上)
	午後	<p><臓器移植側・提供側 合同発表></p>		野副美樹 (同上) 萩原邦子(同上) 佐藤憲明 (同上) 添田 英津子 (同上)

平成 17 年度「臓器移植看護に携わるための基礎知識」

コース目標：臓器移植患者における身体的、精神的、社会的側面を理解し、臓器移植患者への看護・支援における知識・技術の習得を図る

月日 (研修日)	時間	講義/ 演習	科目名(テーマ)/内容	講義のねらい (学習目標)	講師名 [所属]	備考
7/4 (月) 1日目	9:30 ~ 9:40		オリエンテーション			
	午前 9:40 ~ 12:30	講義	<ul style="list-style-type: none"> 臓器移植医療の現状と動向 <ul style="list-style-type: none"> 移植の歴史 臓器移植法 移植医療の諸問題 移植システム <ul style="list-style-type: none"> 臓器移植に関する制度 日本臓器移植ネットワーク 	臓器移植医療における現状と動向を理解する 移植医療における制度やそれに関わる組織の役割を理解する	菊地 耕三 (日本臓器移植ネットワーク)	
	午後 13:30 ~ 16:30	講義	<ul style="list-style-type: none"> 臓器移植の実際と看護 I <ul style="list-style-type: none"> 臓器提供側 (ドナー) <ul style="list-style-type: none"> 臓器提供プロセスおよび看護 脳死 心停止 臓器移植側 (レシピエント) <ul style="list-style-type: none"> 臓器移植における術前、周術期、術後回復期の看護 	<ul style="list-style-type: none"> 臓器移植医療における臓器提供から臓器移植までのプロセスを理解し、患者、家族への看護・支援を理解する 	佐藤 憲明 (日本医科大学附属病院) 林 明美 (慶應義塾大学病院)	
7/5 (火) 2日目	午前 9:30 ~ 12:30	講義	<ul style="list-style-type: none"> 移植に関する基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> 拒絶反応 免疫抑制薬 感染症 精神的問題 	<ul style="list-style-type: none"> 臓器移植における医学的側面を理解し、患者への身体的・精神的支援を考える 	中島 一郎 (東京女子医科大学腎臓病総合医療センター)	
	午後 13:30 ~ 16:30	講義・ 演習	<ul style="list-style-type: none"> 臓器移植の実際と看護 II <ul style="list-style-type: none"> 臓器別(心、腎、肝)における看護の実際 事例検討 グループワーク (※グループワークは、移植看護で困っていることや、施設でのあり方等ふくめ、情報交換を基本とする) 	<ul style="list-style-type: none"> 臓器移植における看護をより充実させる グループワークを通して、臓器移植看護で困った事例、施設でのあり方やその対応策を検討し、情報の共有を行う 	草深 仁子 (信州大学医学部附属病院) 斉藤 美紀子 (大阪大学医学部附属病院) 岡部 祥 (東京女子医科大学病院)	(肝臓) (心臓) (腎臓)

【日本看護協会 看護教育研究センター】

平成17年度「臓器移植コーディネーター養成研修」

コース目標： 臓器移植医療に対する正しい知識を修得し、臓器移植医療に携わる移植コーディネーターの役割および援助について理解する。また、臓器移植者・臓器提供者・家族の身体的・精神的・社会的側面を理解し、臓器移植における継続的な援助をするための知識を修得する。

月日 (研修日)	時間	科目名(テーマ)/内容	講義のねらい(学習目標)	講師名【所属】
12/12 (月) 1日目	9:30 ～ 9:45	オリエンテーション		担当者
	9:45 ～ 11:00	ヒューマンネットワーキング ・グループディスカッション ・情報交換	臓器移植に携わっている看護師同士のネットワークが構築できる 臓器移植に関する疑問、課題を共有する	
	11:00 ～ 12:30	臓器移植医療の基礎知識 ・臓器移植の歴史 ・臓器移植医療に関する法律、制度 ・臓器移植とは(脳死・生体) 臓器移植医療の現状と動向 ・臓器移植医療の現状と動向 ・臓器移植医療の諸問題 臓器移植医療のシステム ・日本臓器移植ネットワークの役割	臓器移植医療に携わるための基本的概念・基礎知識を修得する ・臓器移植医療に関する基本的概念を理解する ・臓器移植医療における現状を理解する ・臓器移植医療に関わる組織の役割を理解する	菊地耕三先生 【日本臓器移植ネットワーク(理事)】
	13:30 ～ 16:30	臓器移植の実際 ・臓器提供から臓器移植までのプロセス ・脳死のメカニズムと脳死判定 ・臓器移植における適応と基準および禁忌 ・脳死ドナーのケアの実際 ・職種間の連携(ドナーコーディネーターと臓器移植実施施設との連携) ・臓器移植に関する保険医療システム(脳死移植費用も含む)	臓器移植医療における臓器提供から臓器移植までのプロセスを理解し、円滑な連絡・調整の役割を果たすための知識を修得する	
12/13 (火) 2日目	9:30 ～ 12:30	臓器移植と倫理 ・臓器移植と倫理問題 ・倫理的ジレンマ ・インフォームド・コンセント ・自己決定への支援(心理プロセス)	臓器移植に関わる倫理問題について理解する	習田明裕先生 【首都大学東京 健康福祉学部 看護学科(准教授)】
	13:30 ～ 16:30	移植看護時の使用薬剤 ・移植時の使用薬剤 ・免疫反応 ・移植後の感染症とその管理	臓器移植医療における使用薬剤に関する基本的概念を理解する	森田邦彦先生 【同志社女子大学 薬学部 医療薬学科(薬学部長・教授)】

【日本看護協会 看護教育研究センター】

12/14 (水) 3日目	9:30 ～ 12:30	【 総 論 】	レシピエント・ドナー・家族に対する精神的支援 ・術前、術中、術後における支援 ・心理的变化と葛藤(心理プロセス) ・危機理論 ・ストレスマネジメント ・家族看護(家族内力動)	臓器移植がもたらすレシピエント・ドナー・家族の心理的变化およびその援助について理解する	渡辺俊之先生 【高崎健康福祉大学 健康福祉学部 保健 福祉学科(教授)】
	13:30 ～ 16:30		臓器移植医療に携わる移植コーディネーターの概要 ・種類およびその役割 ・海外との比較 継続看護・フォローアップ体制 ・情報管理 ・社会資源 ・24時間の対応体制 ・継続看護の実際	臓器移植医療に携わる医療者の役割の違いについて理解する レシピエント・ドナーの長期継続したフォローアップ体制を確立するための知識を修得する	
12/15 (木) 4日目	9:30 ～ 12:30	【 臓 器 移 植 側 】	レシピエントに対する看護① ・レシピエントとその家族に対する意思決定への支援 ・レシピエントの適応評価の調整と支援 ・レシピエントへの教育、指導(自己管理のための支援) ・レシピエントの術前準備 ・レシピエントの術後ケア ・臓器移植に関する保険医療システム	レシピエントに対する移植コーディネーターの役割および援助について理解し、その実際を知る	梅木恵理先生 【埼玉医科大学病院 臓器移植センター (移植コーディネ ーター)】
	13:30 ～ 16:30		レシピエントに対する看護② ・レシピエントコーディネーターの実際(レシピエントコーディネーターと看護師の役割の違い)		
12/16 (金) 5日目	9:30 ～ 12:30	【 臓 器 提 供 側 】	生体ドナーに対する看護① ・生体ドナーとその家族に対する意思決定への支援 ・生体ドナーの適応評価の調整と支援 ・家族サポート体制 ・生体ドナーの術前準備 ・生体ドナーの術後ケア ・生体臓器摘出時の看護 ・臓器移植に関する保険医療システム	生体ドナーに対する移植コーディネーターの役割および援助について理解し、その実際を知る	野尻佳代先生 【東京大学医学部附 属病院 臓器移植医 療部(副看護師長・ レシピエント移植コ ーディネーター)】
	13:30 ～ 16:30		生体ドナーに対する看護② ・ドナーに対するコーディネート の実際		

プログラム

【日本看護協会 看護教育研究センター】

平成18年度『臓器移植看護に携わるための基礎知識』

コース目標：臓器移植医療の現状を理解し、日本における移植件数の多い臓器（心臓・肺・腎臓・肝臓）を通して、臓器移植医療現場の看護に必要な知識を習得する

研修日	時間	科目名（テーマ）／内容	講義のねらい	講師名【所属】
10/17 (火) 1日目	9:30～ 9:40	オリエンテーション		
	9:40 ～ 12:30	臓器移植医療とは？ ・臓器移植医療の歴史 ・臓器移植医療に関する法律、制度 ・臓器移植医療の現状 脳死下臓器提供における臓器移植医療のシステム ・臓器提供から移植までのプロセス ・日本臓器移植ネットワークの役割	・臓器移植医療に関する基本的概念を理解する ・脳死下臓器移植医療における臓器提供から臓器移植までのプロセスを理解する	菊地 耕三 【日本臓器移植ネットワーク】
	13:30 ～ 16:30	現役の移植コーディネーターの活動 ・臓器移植医療に携わるコーディネーターの種類とその概要（役割） ・病棟看護師とコーディネーターとの連携 ヒューマンネットワークング：グループ毎に臓器移植看護に関する現状、問題点、疑問、課題等々についてディスカッションし、情報交換の場とする	・看護実践現場とコーディネーターとが有用な情報交換ができるためにコーディネーターの役割を知る ・臓器移植医療に関する疑問、課題を共有できる ・臓器移植医療に携わっている看護師同士のネットワークが構築できる	添田 英津子 【慶応義塾大学病院(移植コーディネーター)】
10/18 (水) 2日目	9:30 ～ 12:30	看護の実際【心移植編】 ・「脳死移植」を余儀なくされた患者とその家族の精神的援助 ・移植待機患者の看護（万全な状況を維持するために）	・脳死下臓器移植医療におけるレシピエントおよびその家族のおかれた状況に合った援助の実際を知る	斉藤 美紀子 【元大阪大学医学部附属病院(移植コーディネーター)】
	13:30 ～ 16:30	看護の実際【肺移植編】 ・術前、術後急性期、術後回復期、退院指導のポイント ・免疫抑制剤と感染症対策 ・倫理的課題	・生体間臓器移植医療における臓器提供から臓器移植までのプロセスを理解し、ドナー、レシピエントおよび家族のおかれた状況に合った援助の実際を知る	海津 慶子 【東北大学病院(クリニカル移植コーディネーター)】
10/19 (木) 3日目	9:30 ～ 12:30	看護の実際【腎移植編】 ・術前、術後急性期、術後回復期、退院指導のポイント ・免疫抑制剤と感染症対策 ・倫理的課題		岡部 祥 【東京女子医科大学病院(移植コーディネーター)】
	13:30 ～ 16:30	看護の実際【肝移植編】 ・術前、術後急性期、術後回復期、退院指導のポイント ・免疫抑制剤と感染症対策 ・倫理的課題		野尻 佳代 【東京大学医学部附属病院(レシピエント移植コーディネーター)】

プログラム

【日本看護協会 看護教育研究センター】

平成18年度「臓器移植コーディネーター養成研修」

コース目標：臓器移植医療に必要な正しい知識を修得し、臓器移植医療に携わる各コーディネーターの役割およびレシピエント移植コーディネーターの活動について理解する。

月日 (研修日)	時間	科目名(テーマ)/内容	講義のねらい(学習目標)	講師名【所属】
12/11 (月) 1日目	9:30 ～ 9:40	オリエンテーション		担当者
	9:40 ～ 12:30	臓器移植医療に携わる移植コーディネーターの種類と役割 ・種類とその概要 ・海外との比較 ・他職種との連携 ・コーディネーターに求められる要件 ・コーディネーターになるためには *ヒューマンネットワーキング：グループ毎に臓器移植に関する現状、問題点、疑問、課題等々についてディスカッションし、情報交換の場とする	臓器移植医療に携わるコーディネーターの役割について理解する 臓器移植医療に携わっている看護師同士のネットワークが構築できる 臓器移植医療に関する疑問、課題を共有する	添田 英津子 【慶応義塾大学病院(移植コーディネーター)】
	13:30 ～ 16:30	臓器移植医療の基礎知識 ・臓器移植とは ・臓器移植医療の歴史 ・臓器移植医療に関する法律、制度 臓器移植医療の現状と動向 ・臓器移植医療の現状と動向 ・臓器移植医療の諸問題 脳死下臓器提供における臓器移植医療のシステム ・臓器提供から臓器移植までのプロセス ・日本臓器移植ネットワークの役割 ・脳死下臓器移植における適応と基準および禁忌	臓器移植医療に携わるための基礎知識を修得する ・臓器移植医療に関する基本的概念を理解する ・臓器移植医療における現状を理解する 脳死下臓器移植医療における基礎知識を修得する ・脳死下臓器移植医療における臓器提供から臓器移植までのプロセスを理解する ・脳死下臓器移植医療に関わる組織の役割を理解する	菊地 耕三 【日本臓器移植ネットワーク】
12/12 (火) 2日目	9:30 ～ 12:30	院内コーディネーターの役割と実際 ・院内コーディネーターの役割 ・他職種との連携 ・ドナー家族との関わり ・家族ケアの実際	院内コーディネーターの役割について理解し、心停止下臓器提供者発生時における援助の実際を知る	稲葉 伸之 【総合太田病院(群馬県臓器移植コーディネーター)】
	13:30 ～ 16:30	臓器移植医療に用いられる薬剤 ・臓器移植時の使用薬剤 ・免疫反応 ・臓器移植後の感染症とその管理	臓器移植医療における使用薬剤について理解する	森田 邦彦 【同志社女子大学薬学部医療薬学科】

プログラム

【日本看護協会 看護教育研究センター】

12/13 (水) 3日目	9:30 ～ 12:30	臓器移植医療と倫理 ・看護倫理、生命倫理 ・臓器移植医療と看護倫理 ・倫理的問題と倫理的課題（ジレンマ） ・意思決定プロセス	臓器移植医療における看護倫理について考える	習田 明裕 【首都大学東京健康福祉学部看護学科】
	13:30 ～ 16:30	レシピエント・ドナー・家族に対する精神的支援 ・心理的变化と葛藤（心理プロセス） ・危機理論 ・家族看護（家族内力動） ・ストレスマネジメント ・医療従事者のストレス管理	臓器移植医療がもたらすレシピエント・ドナー・家族の心理的变化およびその援助について理解する 臓器移植医療に携わる医療従事者のストレスとそれの軽減法について理解する	渡辺 俊之 【高崎健康福祉大学健康福祉学部保健福祉学科】
12/14 (木) 4日目	9:30 ～ 12:30 ・ 13:30 ～ 16:30	レシピエント移植コーディネーターの役割と実際Ⅰ ・生体間移植実施までのプロセス ・レシピエント、家族に対する意思決定支援とそのプロセス ・レシピエント、家族の諸問題と支援 ・レシピエントの適応評価と支援 ・レシピエントの術前準備、術後ケア ・レシピエントに関わる保険医療制度 ・継続看護・フォローアップ体制 ・レシピエントへの教育内容と方法 ・情報管理 ・臓器移植医療に携わる看護師の教育 ・事例検討	埼玉医大の事例を基にレシピエント移植コーディネーターの役割について理解し、レシピエントとその家族に対する援助の実際を知る	梅木 恵理 【埼玉医科大学病院（レシピエント移植コーディネーター）】
12/15 (金) 5日目	9:30 ～ 12:30 ・ 13:30 ～ 16:30	レシピエント移植コーディネーターの役割と実際Ⅱ ・生体間移植実施までのプロセス ・生体ドナー、家族に対する意思決定支援とそのプロセス ・生体ドナー、家族の諸問題と支援 ・生体ドナーの適応評価と支援 ・生体ドナーの術前準備、術後ケア ・生体ドナーに関わる保険医療制度 ・継続看護・フォローアップ体制 ・生体ドナーへの教育内容と方法 ・レシピエント移植コーディネーターと看護師の役割の違い ・情報管理 ・臓器移植医療に携わる看護師の教育 ・事例検討	東大病院の事例を基にレシピエント移植コーディネーターの役割について理解し、生体間移植時における生体ドナーとその家族に対する援助の実際を知る	野尻 佳代 【東京大学医学部附属病院（レシピエント移植コーディネーター）】

【日本看護協会 看護教育研究センター】

平成 19 年度 『臓器移植の基礎知識』

コース目標：臓器移植医療の現状を理解し、日本における移植件数の多い臓器（心臓・肺・腎臓・肝臓）を通して、臓器移植医療現場の看護に必要な知識を習得する

研修日	時間	科目名（テーマ）／内容	講義のねらい	講師名【所属】
7/18 (水) 1日目	9:30～ 9:40	オリエンテーション		
	9:40 ～ 12:30 【講義】	臓器移植医療とは ・臓器移植医療の歴史 ・臓器移植医療に関する法律、制度 ・臓器移植医療の現状 脳死下臓器提供における臓器移植医療のシステム ・臓器提供から移植までのプロセス ・日本臓器移植ネットワークの役割	・臓器移植医療に関する基本的概念を理解する ・脳死下臓器移植医療における臓器提供から臓器移植までのプロセスを理解する	小中 節子 【日本臓器移植ネットワーク】
	13:30 ～ 16:30 【講義・演習】	現役の移植コーディネーターの活動 ・臓器移植医療に携わるコーディネーターの種類とその概要（役割） ・病棟看護師とコーディネーターとの連携 ヒューマンネットワーキング：グループ毎に臓器移植看護に関する現状、問題点、疑問、課題等々についてディスカッションし、情報交換の場とする	・看護実践現場とコーディネーターとが有用な情報交換ができるためにコーディネーターの役割を知る ・臓器移植医療に関する疑問、課題を共有できる ・臓器移植医療に携わっている看護師同士のネットワークが構築できる	添田 英津子 【慶応義塾大学病院(移植コーディネーター)】
7/19 (木) 2日目	9:30 ～ 12:30 【講義】	看護の実際【肝移植編】 ・術前、術後急性期、術後回復期、退院指導のポイント ・免疫抑制剤と感染症対策 ・倫理的課題	・生体間臓器移植医療における臓器提供から臓器移植までのプロセスを理解し、ドナー、レシピエントおよび家族のおかれた状況に合った援助の実際を知る	草深 仁子 【信州大学医学部附属病院（看護師長）】
	13:30 ～ 16:30 【講義】	看護の実際【肺移植編】 ・術前、術後急性期、術後回復期、退院指導のポイント ・免疫抑制剤と感染症対策 ・倫理的課題		海津 慶子 【東北大学病院(レシピエント移植コーディネーター)】
7/20 (金) 3日目	9:30 ～ 12:30 【講義】	看護の実際【腎移植編】 ・術前、術後急性期、術後回復期、退院指導のポイント ・免疫抑制剤と感染症対策 ・倫理的課題		
	13:30 ～ 16:30 【講義】	看護の実際【心移植編】 ・「脳死移植」を余儀なくされた患者とその家族の精神的援助 ・移植待機患者の看護（万全な状況を維持するために） ・心臓移植の実際	久保田 香 【大阪大学医学部附属病院(レシピエント移植コーディネーター)】	

平成19年度「臓器移植コーディネーター養成研修」

コース目標： 臓器移植医療に必要な正しい知識を修得し、臓器移植医療に携わる各臓器移植コーディネーターの役割およびレシipient移植コーディネーターの活動について理解する。

月日 (研修日)	時間	科目名(テーマ) / 内容	講義のねらい(学習目標)	講師名【所属】
11/26 (月) 1日目	9:30 ～ 9:40	オリエンテーション		担当者
	9:40 ～ 12:30	臓器移植医療に携わる移植コーディネーターの種類と役割 ・ コーディネーター活動の実際 ・ コーディネーターが生まれた経緯 ・ 海外との比較 ・ 移植を取り巻く他職種との連携 ・ コーディネーターに求められる要件 ・ コーディネーターになるためには	・ 臓器移植医療に携わるコーディネーターの役割と活動範囲について理解する	添田 英津子 【慶応義塾大学病院(移植コーディネーター)】
	13:30 ～ 16:30	臓器移植医療の現状と動向 ・ 臓器移植医療の現状と動向 ・ 臓器移植医療の諸問題 脳死下臓器提供における臓器移植医療のシステム ・ 臓器提供から臓器移植までのプロセス ・ 日本臓器移植ネットワークの役割 ・ 脳死判定 ・ 脳死下臓器移植における適応と基準および禁忌	・ 臓器移植医療における現状を理解する ・ 脳死判定について自分の言葉で説明できる ・ 脳死下臓器移植医療における臓器提供から臓器移植までのプロセスを理解する ・ 脳死下臓器移植医療に関わる組織の役割を理解する	芦川 淳太郎 【日本臓器移植ネットワーク】
11/27 (火) 2日目	9:30 ～ 12:30	移植と免疫 ・ 移植の分類 ・ 免疫反応のメカニズム ・ 生体防御機構 ・ 拒絶反応 ・ 免疫抑制薬 ・ 免疫学的寛容	臓器移植医療における免疫反応とその対処について理解する	白杉 望 【帝京大学医学部外科】
	13:30 ～ 16:30	臓器移植医療に用いられる薬剤 ・ 臓器移植時の使用薬剤 ・ 臓器移植後の感染症とその管理	臓器移植医療における使用薬剤について理解する	池谷 修 【慶応義塾大学病院薬剤部】

11/28 (水) 3日目	9:30 ～ 11:30	インフォームド・コンセント、承諾の 手続きと倫理 ・ 臓器移植における承諾 ・ 臓器移植医療と看護倫理 ・ 倫理的問題と倫理的課題 (ジレンマ)	臓器移植医療における看護 倫理について考える	習田 明裕 【首都大学東京 健康福祉学部看 護学科】
	12:30 ～ 15:00	レシピエント・ドナー・家族に対する 精神的支援 ・ 心理的变化と葛藤 (心理プロセス) ・ 危機理論 ・ 家族看護 (家族内力動) ・ ストレスマネジメント ・ 医療従事者のストレス管理	臓器移植医療がもたらすレ シピエント・ドナー・家族 の心理的变化およびその援 助について理解する 臓器移植医療に携わる医療 従事者のストレスとそ の軽減法について理解する	渡辺 俊之 【高崎健康福祉大 学 健康福祉学 部保健福祉学科】
	15:00 ～ 16:30	レシピエント・ドナー・家族に対する 社会支援 ・ 社会支援の概要 ・ 移植に関する費用の実際	臓器移植医療を受ける患者 とその家族に対する社会支 援の概要を知る	石光 和雅 【静岡済生会総合 病院 MSW】
11/29 (木) 4日目	9:30 ～ 12:30 ・ 13:30 ～ 16:30	レシピエント移植コーディネーターの 役割と実際Ⅰ ・ 生体間移植実施までのプロセス ・ レシピエント、家族に対する意思決定 支援とそのプロセス ・ レシピエント、家族の諸問題と支援 ・ レシピエントの適応評価と支援 ・ レシピエントに関わる保険医療制度 (脳 死、生体間) ・ 継続看護・フォローアップ体制 ・ レシピエントへの教育内容と方法 ・ 情報管理	埼玉医大の事例を基にレシ ピエント移植コーディネ ーターの役割について理解し、 レシピエントとその家族に 対する援助の実際を知る	梅木 恵理 【埼玉医科大学病 院 (レシピエント 移植コーディネ ーター)】
11/30 (金) 5日目	9:30 ～ 12:30 ・ 13:30 ～ 16:30	レシピエント移植コーディネーターの 役割と実際Ⅱ ・ 生体肝移植実施までのプロセス ・ 生体ドナー、家族に対する意思決定支 援とそのプロセス ・ 生体ドナー、家族の諸問題と支援 ・ 生体ドナーの適応評価と支援 ・ 生体ドナーに関わる保険医療制度 ・ 継続看護・フォローアップ体制 ・ 生体ドナーへの教育内容と方法 ・ 情報管理 ・ 事例検討 まとめ ・ 5日間の簡単なおさらい	・ 東大病院の事例を基にレシ ピエント移植コーディネ ーターの役割について理解 し、生体肝移植時における 生体ドナーとその家族に対 する援助の実際を知る	野尻 佳代 【東京大学医学部 附属病院 (副看護 師長, レシピエン ト移植コーディネ ーター)】

【日本看護協会 看護教育研究センター】

平成 20 年度 『臓器移植におけるはじめての看護実践』

コース目標：臓器移植医療の概要を理解するとともに、日本において移植件数が多い心臓・肺・腎臓・肝臓の各臓器の移植を通じて、移植における看護師の役割と移植看護に必要な基本的知識を習得する。

研修日	時間	科目名（テーマ）／内容	講義のねらい	講師名【所属】
5/28 (水) 1 日目	9:30～ 9:40	オリエンテーション		
	9:40 ～ 12:30 【講義】	臓器移植医療とは ・ 歴史、現状と動向 ・ 臓器移植法、制度 ・ 倫理的問題 臓器移植医療のシステム ・ 臓器提供～移植までのプロセス	臓器移植医療に関する基本的概念、背景について理解する 臓器提供から臓器移植までのプロセスを理解する	芦刈淳太郎 【日本臓器移植ネットワーク】
	13:30 ～ 16:30 【講義】	移植における看護師の役割 ・ 移植看護とは ・ 移植と看護師の役割 ・ 移植に関わる他職種（主に移植コーディネーター等）の活動 ～移植コーディネーター等 アイスブレーキング	移植看護の概要を理解し、臓器移植医療における、看護師としての役割が理解できる。 移植に関わる他職種（主に移植コーディネーター）の活動と役割を理解できる。 臓器移植医療看護に関する情報交換ができ、課題を共有できる	添田英津子 【慶応義塾大学病院（レシピエント移植コーディネーター）】
5/29 (木) 2 日目	9:30 ～ 12:30 【講義】	臓器移植看護の実際【腎臓移植】 ・ 腎臓移植の適応疾患 ・ 移植前後のベッドサイドケア ・ 回復期の看護と退院指導	各臓器移植医療における看護の基本を理解する。 ドナー、レシピエントおよびその家族への適切な看護・援助の実際を知り、援助方法を考えることができる。	岡部祥 【東京女子医科大学病院（レシピエント移植コーディネーター）】
	13:30 ～ 16:30 【講義】	臓器移植看護の実際【肺移植】 ・ 肺移植の適応疾患 ・ 移植前後のベッドサイドケア ・ 回復期の看護と退院指導		海津慶子 【東北大学病院（レシピエント移植コーディネーター）】
5/30 (金) 3 日目	9:30 ～ 12:30 【講義】	臓器移植看護の実際【肝臓移植】 ・ 肝臓移植の適応疾患 ・ 移植前後のベッドサイドケア ・ 回復期の看護と退院指導	脳死下臓器移植医療のあらましを知り、ドナー、レシピエントおよびその家族への看護援助の実際を知る	野尻佳代 【東京大学医学部附属病院（副看護師長、レシピエント移植コーディネーター）】
	13:30 ～ 16:30 【講義】	臓器移植看護の実際【心臓移植】 ・ 心臓移植の適応疾患 ・ 心臓移植の実際 ・ 脳死下移植に関わる看護の基礎		堀由美子 【国立循環器病センター（レシピエント移植コーディネーター）】



社団法人 日本看護協会 ニュースリリース
2005年4月27日

News Release

報道関係者各位

臓器移植法改正について 日本看護協会の見解

現在、臓器移植法の改正について、自民党「脳死・生命倫理及び臓器移植調査会」の改正案をもとに、今国会の提出をめざし議論が進められています。4月21日に行われた与党有志議員の検討会では、改正案の一部修正を行うことで合意したと、報道がありました。

(社)日本看護協会(会長・南裕子)は、改正案に対し、4月7日に行われた与党の有志議員によるヒアリングなどで、慎重な意見を述べてきました。ヒアリングでは、別添内容を発言いたしましたので、今後の最終調整に向け改めて公表いたします。

〈見解の要点〉

- ◎脳死を人の死と認める社会的合意は得られておらず、臓器提供および脳死判定の実施は原則として「本人が書面で意思表示している」ことを要件とする現行法を維持すべき。
- ◎15歳未満の者の意思表示について、「自己の意見を形成する能力」をもつ者については、何らかの形で臓器提供に対する意思を表示し、臓器提供について自己決定することを原則とするべき。おおむね12歳以上の児童であればその能力を持つと考えられるのではないかな。
- ◎仮に12歳未満の児童を対象とする場合、保護者(代替者)が書面にて意思表示を行い、その場合には擁護者および第三者の関与を前提とするなど厳格な要件を定めるべき。
- ◎子どもから老人まで、あらゆる発達段階に応じた移植医療に関する学習の機会を積極的に設け、人間の生と死そのものについての教育の普及を図るとともに、移植医療に関する啓発を行うことが必要。
- ◎親族への優先提供については、現時点でおこなうべきではない。
- ◎移植コーディネーターの資格化の法整備等、患者・家族の意思決定を支える医療環境整備が急務。

報道関係および関係機関の皆さまには、本見解の趣旨をご理解いただき、いろいろな機会にご紹介くださいますよう、併せてお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉 社団法人日本看護協会 広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

電話：03-5778-8547 FAX：03-5778-5601 (4月よりFAX番号が変更)

Eメール koho@nurse.or.jp ホームページ <http://www.nurse.or.jp/>

臓器移植法改正に関する日本看護協会の見解

社団法人日本看護協会

日本看護協会としての基本的な考えは、行動指針として公表している「看護者の倫理綱領」に立脚する。看護者は、いかなる場面においても生命、人格、尊厳が守られることを判断及び行動の基本としている。患者の自己決定を尊重し擁護する立場から、臓器移植法改正に向けた本会の意見を述べる。

論点 1. 臓器提供における意思表示要件について

1) 脳死を人間の死と認める社会的合意は得られていず、臓器提供の実施は原則として「本人が臓器を提供することを書面で意思表示している」ということを要件とする現行を維持するべきである。

臓器提供は、提供者本人の他者を救いたいという人道的な意思に基づき行われている。人としての生命・人格・尊厳を守るためには、その意思表示を要件とすることは必須である。本人が意思表示をしていない場合に家族の同意で臓器提供を可能にする案は、臓器提供の数を増やす目的には効果的であるが、本人に提供の意思がなくてもドナーとなりうる可能性がある。また、脳死下での臓器提供は、その人の人生の終末のあり方を大きく左右する。脳死と判定された時点で心臓死に対する延命治療から臓器保存のための処置へと変化するだけでなく、人生の終末における家族との過ごし方にも大きな影響を与える。本人の意思を確認することは、推測のみに基づく臓器提供を防ぎ、本人が望まない人生の終末を導かないために重要である。

2) 「児童の権利に関する条約」では児童が自己の意見を表明する権利について記載しており、15歳未満の者であっても臓器提供を自己決定した場合にはその意思を尊重するべきである。

現行では、15歳未満の者の意思表示を有効としていないが、「自己の意見を形成する能力」をもつ者については、何らかの形で臓器提供に対する意思を表示し、臓器提供について自己決定することを原則とするべきである。脳死とは何か、臓器を提供するとはどのようなことなのかについて理解し、意思を表明することが可能な年齢は一律に線引きすることは容易ではないが、おおむね12歳以上の児童であればその能力をもつと考えられるのではないかと。

自己決定できる環境を整備するとともに年齢及び成熟度にあわせた脳死移植の説明や意思表示の方法を検討し、書面による意思表示の確認をするべきである。

3) 仮に12歳未満の児童を対象とする場合には、保護者（代替者）が書面にて意思表示を行い、その場合には擁護者および第三者の関与を前提とするなど厳格な要件を定めるべきである。

意思表示ができない乳幼児や学童については、虐待による脳死の可能性や親の気持ちが先行して子どもの意思が優先されない可能性もあり、子どもの意思を反映した決定であることを確認する体制を整備する必要がある。

日本小児看護学会（会員数 約1,200名、会長 日沼千尋）では、意思決定や意思表示ができない乳児や年少幼児の場合に、保護者が代替の意思決定ができる可能性を次のように示している。

「臓器の提供及び移植には子ども自身の意思確認をすること」を原則とした上で、「子どもの臓器移植が行われる場合には、臓器提供から移植への一連のプロセスにおいて、子どもの権利の擁護者（アドボケーター）として専門看護師あるいは子どもの専門家が関与し、看護職を含む倫理委員会などの移植に関わらない第三者が子どもの人権擁護の立場から審査を行うこと」を提案している。

本会でも、子どもの意思に沿った決定であることを確認する体制が必要であると考える。

論点2. 脳死判定における意思表示要件について

1) 脳死判定の実施は本人が脳死判定に従うことを書面で意思表示していることを要件とするべきである。

人の死については様々な捉え方があり、一般的に心臓死による三徴候をもって死と認める社会的合意はあるが、脳死に関しては社会的合意があるとはいえない。脳死判定に従うということは、脳死を自己の死として受け止めることを意味し、『自己決定』による明確な意思表示を要件とするべきと考える。脳死そのものの医学的疑問が提出されるなど、医学的決着を見ていない現時点で、意思表示なしで脳死判定できるとするのは、危険であり容認できるものではない。

子どもに代替して保護者が意思決定する場合には、小児では脳死後心停止に至るまでに長時間を要する傾向があることを保護者（代替者）にインフォームドコンセントがなされていることを前提とすべきである。

論点 4. 移植医療に関する啓発及び知識の普及について

1) 学校教育、生涯教育などの場を活用し、子どもから老人まであらゆる発達段階に応じた学習の機会を積極的に設け、人間の生と死そのものについての教育の普及を図るとともに移植医療に関する啓発を行うことが必要である。

移植医療に関する国民全体への啓発普及のひとつとして、死後の臓器提供について運転免許証及び医療保険の被保険者証等に記載する等の案に異論はない。さらに、教育のなかで、それぞれの段階に応じた学習や考える機会を積極的に作っていくことが必要である。これは何もドナーを増やすという短絡的な目的のためではない。人間の生と死そのものを考える機会、このようなより広い文脈のなかに位置づけ、心臓死と脳死の違い、臓器提供を待つ人々の存在を含めて理解を図るのである。また、子どもから青年までだけでなく、それ以上の年齢層の人々にも運転免許取得や更新の機会、生涯教育の場などを活用して普及啓発に務め、「意思表示」の意義の理解を図ることが重要と考える。

論点 5. 親族への優先提供について

1) 現時点で親族への優先提供は行うべきではない。

親族への優先提供を認めることで思わぬ事態を招く懸念があるため、現時点では「移植術を必要とする者に係る移植術を受ける機会は、公平に与えられるよう配慮されなければならない」という臓器移植法の第2条の基本理念を遵守すべきと考える。

その他

○移植コーディネーターの資格化の法整備等、臓器移植における患者および家族(生体ドナーを含む)の意思決定を支える医療環境を整備されたい。また、移植コーディネーターは、研修を受け専門的知識と高度なスキルを備えた看護職が適していると考えられる。

移植医療の現場には倫理的問題が多く存在しており、その問題に取り組むためには、医学的知識だけでなく患者及び家族の意思決定を支える技術が不可欠である。移植医療の現場において(診療の補助業務として)患者の全身管理を行うのは看護師であり、看護師は患者のみならず家族をも対象としたケアを日々実践している。移植コーディネーター*については臨床における患者・家族との継続的な関わりが非常に重要であり、看護職が担うべき役割であると考えられる。米国では、移植コーディネーターのほとんどが看護師である。

また、臓器移植施設で移植コーディネーターを配置しているのは約2割に過ぎないという報告があり、医療の質の向上のためにも移植コーディネーターの資格化と配置促進についての法の整備が重要であると考えられる。

*本会では、平成 10 年度より臓器移植看護に関する研修を実施しているが、専門性の高い移植コーディネーターの育成が必要と考え、平成 16 年度に臨床移植コーディネーターの教育プログラムを作成した。臨床移植コーディネーターは「移植医療に関する最新の多様な専門的知識と高度なスキルを備え、移植の全過程において対象となる人々が最良の移植医療を受けられるよう調整する役割を自律的に遂行する看護師」と定義した。

*松田¹⁾らが行ったレシピエントコーディネーターに関する研究では、アンケート調査に回答した 187 施設のうち、レシピエント移植コーディネーターは 38 施設 (20.4%) で計 72 名配置されており、医療従事者が全体の 84.7% (看護師 72.2%) を占めていた。また、専任での配置は 21 名 (看護師 20 名)、兼任は 51 名 (看護師 32 名) であった。この結果から、レシピエント移植コーディネーターを設置している施設はわずか 2 割であり、職種別では 7 割が看護職であった。

以上述べたとおり、本会の意見をまとめたが、看護の有識者から臓器移植法改正に向けた意見を聴取した際には様々な意見が含まれていた。看護職の中でも脳死を人の死とする合意が得られていず、臓器提供については患者の自己決定とその意思表示が最適な形で行われることの重要性が明確である。そのため、移植医療の知識の普及のみならず脳死を含めた生と死についての教育を通して国民の死生観の醸成を図るとともに、閉鎖的な医療現場の透明性の確保や移植医療における人々の意思決定を支える環境の整備を推進することが優先課題であると考えられる。

¹⁾ 松田暉：臓器移植後の看護、特にレシピエント移植コーディネーターに関する検討，2002 年度厚生労働省研究費補助金（ヒトゲノム再生医療等研究事業）分担研究報告書

厚生労働科学研究費補助金（再生医療等研究事業）

分担研究報告書

臨床移植コーディネーター看護師の配置状況と看護管理者の認識に関する研究

主任研究者 清水 準一 首都大学東京健康福祉学部看護学科 准教授
分担研究者 石川 陽子 首都大学東京健康福祉学部看護学科 准教授
分担研究者 勝野とわ子 首都大学東京健康福祉学部看護学科 教授

研究要旨：臨床移植コーディネーターが活躍できる環境を検討するため、国内の146移植施設の看護部門の責任者を対象とする質問紙調査を2008年2月に行った。回収票は60票で、有効回答率は41.1%であった。回答のあった施設の半数に移植コーディネーターが配置されており、そのほとんどで看護職が担当していた。看護管理者は移植コーディネーターの配置や増員については、充実した教育・研修を受けた職員がいることだけではなく、全体的な看護職員の充足、財政的な支援、移植医等の姿勢といった環境の整備が必要と認識しており、また質の高いケアを提供するために認定看護師相当の教育・研修を受けた看護師を必要としているものと考えられた。移植コーディネーターの配置に関しては、施設ごとに個別の状況や事情があると考えられるため、引き続き検討が必要である。

A. 研究目的

臨床移植コーディネーター看護師の養成を検討する上で、その活躍の場として期待される移植施設において、実際にどのように現在移植コーディネーターが配置されているのか、および看護管理者が施設の臓器移植に関連したケアの状況をどのように捉え、どのような人材を求めているのかを把握し、それらを養成課程に反映させてゆくことが重要である。

そこで本研究では移植施設の看護管理者に対する質問紙調査を通じて、これらの状況を把握することを目的とした。

B. 研究方法

1) 対象

日本移植学会2006年症例登録¹⁾⁵⁾より、2006年に国内で移植手術を行った腎移植136施設及び肝移植48施設、ならびに2006年までに心臓移植を行った7施設及び膵移植10施設、膵島移植の認定施設である6施設（重複を考慮すると合計146施設）の看護部門の管理責任者を対象とし、看護部長や副看護部長等の病院全体の看護職を統括する立場にある者に回答を依頼した。

2) 調査方法

調査は2008年2月下旬に依頼状（資料1）と自記式調査票（資料2）、返信用封筒を対象者に送付し、郵送回収とした。同年3月上旬に対象者に、調査への回答のお礼と未回答者への回答の督促を兼ねたはがきを1回送付した。